



米原市
シモツケソウ 伊吹山頂



草津市
烏丸半島の蓮



人



環境対応車の購入等を
低利融資とスピード対応で
強力にサポート



省エネルギー・耐震住宅への
リフォームをサポート (P17)



エコ関連・耐震住宅建設を
サポート (P17)

太陽光発電等の導入をサポート。
CO₂削減量に応じて
ニゴロブナを放流 (P16)



融資商品



10周年を迎える「サタデー起業塾」

エコでチャレンジ!
「ニュービジネス」にける
起業家精神をサポート (P18)



エコビジネス
マatchingフェアを開催!!

ビジネスチャンスの創出を
強力にバックアップ (P18)



その他にも…
CSRの観点で、
お客さまの
課題解決をサポート!
災害対策に取り組む
事業者の皆さまを
コンサルティングから
ご融資までサポート (P25)



地球温暖化防止の
思いが込められたご預金を
環境配慮への取り組みが
先進的な企業等に融資 (P13)
(好評につき、取り扱い終了)

環境保全に取り組まれる
事業者の皆さまをサポート (P14)

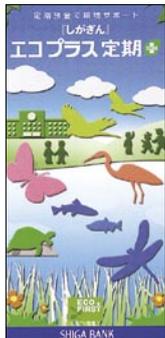


CSR関連商品・サービスの取り扱い

- 平成 4年 5月 愛のみずうみ口座
- 平成10年 4月 エコ・クリーン資金
- 平成10年 4月 ニュービジネスフォーラム
- 平成15年 4月 エコプラス定期
- 平成17年 8月 エコ&耐震住宅ローン
- 平成17年12月 しがきん琵琶湖原則支援資金
- 平成18年 7月 子育て&高齢者向け住宅ローン
- 平成18年 8月 事業者向けBCPサポートローン
- 平成19年 4月 カーボンニュートラルローン
未来よし
- 平成20年 4月 カーボンオフセット定期預金
「未来の種」
- 平成20年 6月 環境に特化した
「エコビジネスフォーラム」
- 平成20年 7月 エコビジネスマatchingフェア
- 平成20年 7月 事業者向け環境配慮型融資
「未来の芽」
- 平成21年 2月 温室効果ガス削減支援業務

法人

Q. 環境対応型金融商品には どのようなものがありますか？

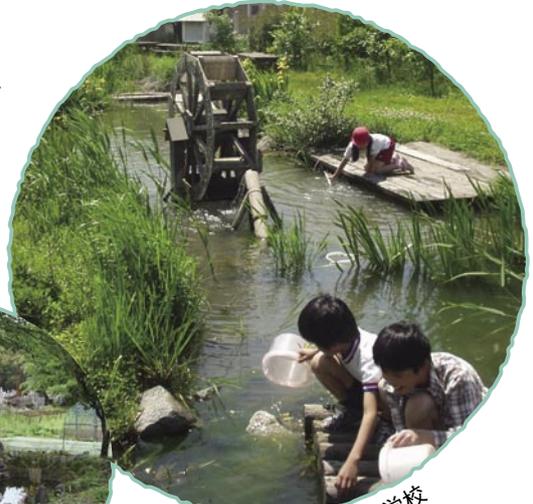


「学校ビオトープ」で環境学習 ～エコプラス定期～

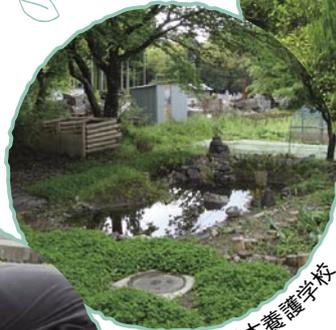
エコプラス定期は、当行創立70周年を記念して平成15年4月より取り扱いを開始。お客さまが当行のダイレクトチャンネル(ATM、電話、インターネット)を利用して定期預金をしていただくと、1回のお預け入れごとに7円(ダイレクトチャンネルで不要となる定期預金申込用紙代相当額)を当行が負担して積み立て、滋賀県内の小学校の「学校ビオトープ」づくりの資金として拠出させていただきます。平成20年度は5校に、それぞれ50万円を寄贈しました。

「生物多様性保全」の取り組み①

「未来を担う子どもたちに、多様な生物との共生空間である『ビオトープ』を通じて、命の大切さや生態系の仕組みを学ぶきっかけをつくるお手伝いがしたい」との思いから始まった助成活動。「ホテルが舞った」「カマキリやバッタが身近で見られるようになった」「カエルは冬に冬眠することを知った」など、子どもたちは生き物や植物の観察を通して多くのことを学び、環境学習の実践の場としてご活用いただいています。



安土町立 老蘇小学校



県立 鳥居本養護学校



高島市立 マキノ北小学校



近江兄弟社小学校



長浜市立 長浜北小学校

平成20年度
「学校ビオトープ」
助成先

エコプラス定期実績



※件数は単年度の実績、金額は取り扱い開始からの累計額を表示しています。

TOPICS

「学校ビオトープ」助成累計は13校に

「エコプラス定期」による拠出金贈呈式を平成21年6月に開催し、平成21年度は3校へ「学校ビオトープ」づくりの活動資金を贈呈しました。

今年度の助成先の一つ、草津小学校のビオトープでは、琵琶湖で採取したメダカやフナを放流するとともに、ヨシやマコモ、ガマなどの水生植物を配して整備を実施。太陽光発電で動く噴水装置も設置されました。子どもたちは、このビオトープの観察をとおして、生態系や環境保全の大切さについて学んでいくことでしょう。

これで、「学校ビオトープ」づくりの助成校は、平成18年度以来累計で13校となり、総額604万円を寄贈しています。

平成21年度助成先

近江八幡市立北里小学校、東近江市立御園小学校、草津市立草津小学校





大津市
びわ湖大花火大会



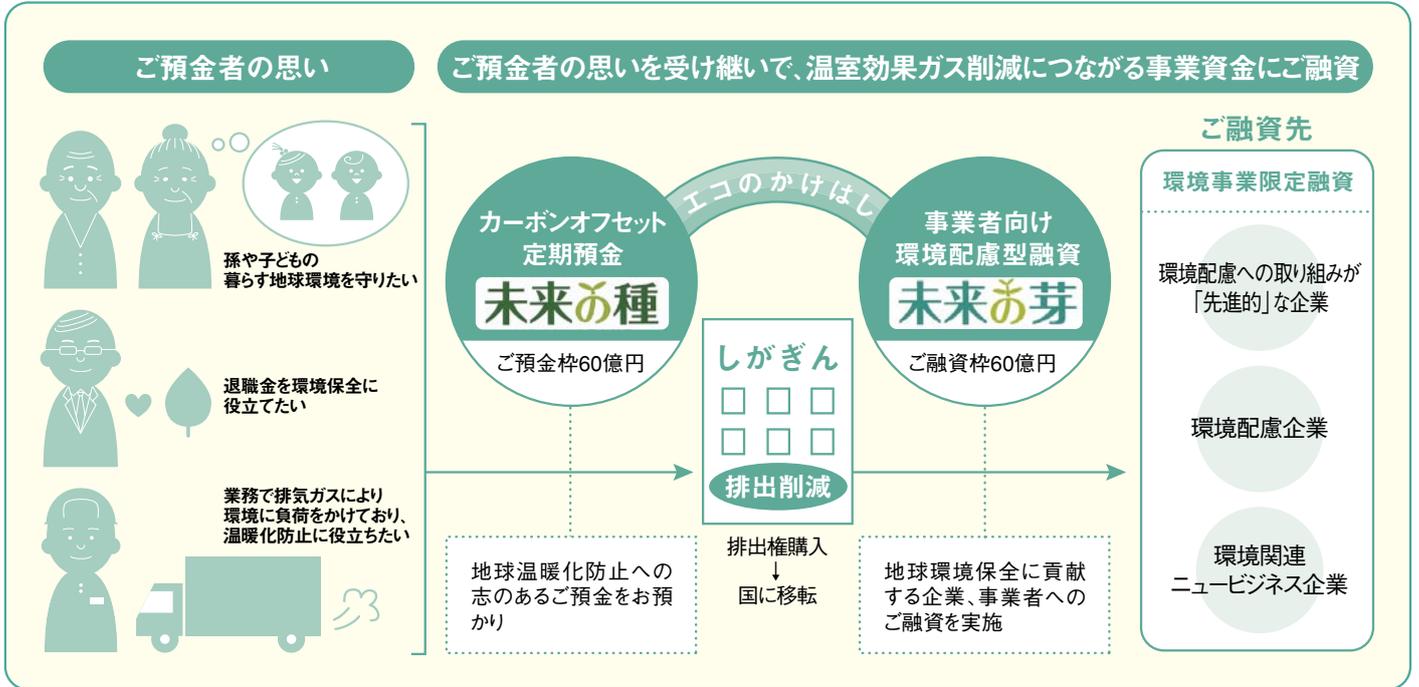
野洲市
三上山 (近江富士)



未来の「種」から「芽」へ～預金と融資を地球環境保全で結ぶ～

NEW!

地球環境との共存共栄



お客さまからお預け入れいただいた定期預金の金額に応じ、当行が費用を負担して温室効果ガス排出権を購入する「**カーボンオフセット定期預金「未来の種」**」の取り扱いを、平成20年4月、国内の金融機関で初めて開始しました。

また、同年7月には「カーボンオフセット定期預金『未来の種』」による、地球温暖化防止への思いが込められたご預金を、環境配慮に先進的な事業者の皆さまや、温室効果ガス削減への取り組みで必要とされる資金にご融資する「**事業者向け環境配慮型融資「未来の芽」**」の取り扱いを開始しました。

「温室効果ガス削減への思いが込められたご預金を原資に、温室効果ガス削減に取り組まれようとする事業先へご融資する」、まさに「**お金の流れで地球環境を守る**」という当行独自の「環境金融」です。両商品ご好評いただき、ご預金枠・ご融資枠ともに60億円に達したため、取扱いは終了させていただきました。



用語説明

カーボンオフセット

地球温暖化対策として、企業や消費者が排出した温室効果ガスの一部を排出権の取得や自然保護活動への協力等で相殺すること。



「カーボンオフセット定期預金『未来の種』」のお預け入れ件数は、個人が8割を占め、年代別では50代以上が全体の7割を占めています。

窓口でのお客さまの反応は、京都議定書の5年間に合わせた預け入れ期間の長さ戸惑われることもありましたが、地球温暖化防止に込められた当行の思いをご説明すると、ご賛同いただける方も多く、環境意識の高い個人の方を中心にお預け入れいただきました。

平成21年度も、お預け入れ残高の0.1%分として排出権2,000tを購入し、初年度分と併せて4,000tの排出権を国に無償で譲渡しました。

しがぎん VOICE

営業店の声



五個荘支店 池野 元章

各企業では、CO₂の削減等、環境配慮型への設備投資がどんどん進んでいます。私も、設備投資のお手伝いで、各企業の環境マインドの高まりを実感しております。PLB資金でお役に立てることは、近江商人の「三方よし」に「環境よし」を加えた理念の実践だと自負しております。今後も地域社会・地球環境との共存共栄を担っていきたいと思います。

※PLB資金についてはP14をご参照ください

Q. 環境対応型金融商品にはどのようなものがありますか？



地球環境保全への願いを込めて ～「しがぎん琵琶湖原則 (PLB)」～

お客さまと手を携え、環境保全に向けた取り組みを一層促進させるため、平成17年12月に「しがぎん琵琶湖原則 (PLB=Principles for Lake Biwa)」を策定し、琵琶湖をはじめとする地球環境保全への願いを込めた、この原則への賛同を広く呼びかけています。

ご賛同いただいたお客さまのうち、ご希望の方には、お客さまの「環境を主軸としたCSR経営に関する資料」に基づき、当行独自の**PLB格付 (環境格付)**を実施。環境経営に対する「気づき」のツールとしてご活用いただいております。



〈PLB3原則〉

1. 環境保全に役立つ生産・販売・サービス基準を策定します。
2. 環境配慮行動とビジネスチャンスの両立をめざします。
3. 環境リスクを軽減し、持続可能な地域社会を実現します。

環境を主軸とするCSR活動をサポート ～琵琶湖原則支援資金 (PLB資金)～

「琵琶湖原則支援資金 (PLB資金)」は、環境保全に取り組まれる企業・事業者の皆さまをサポートする「**エコ・クリーン資金**」(平成21年3月末現在実行累計:688件、85億88百万円)の商品内容を充実・発展させ、PLB格付によるお客さまの取り組み度合いを反映して最大で金利を年0.5%差し引かせていただく商品です。

この「PLB資金」には、地元中堅・中小企業による「**環境を主軸としたCSR経営**」を支援し、地域と連携して「**持続可能な企業と地域社会**」を実現しようとの強い願いを込めています。

平成21年3月末現在、融資累計は630件、119億68百万円となりました。



PLBへの賛同先数は、4,528先にのぼり、県内・県外を問わず大きな反響をいただいています。(平成21年3月末現在)

〈PLB資金プラン〉



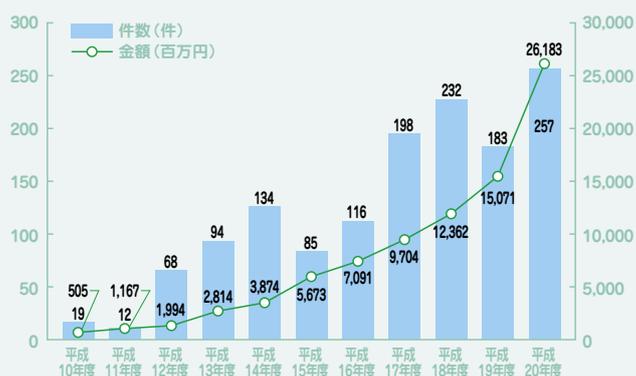
格付評価項目

ISO14001等の認証取得	グリーン調達・グリーン購入の取組
環境会計導入	コンプライアンスの推進部署の設置状況
土壌汚染、騒音、振動等への取組	
環境に配慮した製品・商品の取扱	環境報告書の発行
法令遵守方針の策定	投資案件決定時の環境考慮対応
環境方針の策定	地球温暖化ガス(CO ₂)排出量削減への取組
環境保全のボランティア活動	
省エネ・省資源への取組	リサイクルへの取組

PLB格付	格付評価	金利引き下げ幅
L1	取り組みが先進的	▲ 0.5%
L2	取り組みが十分	▲ 0.4%
L3	取り組みが普通	▲ 0.3%
L4	今後の取り組みに期待	▲ 0.2%

(注) L5に格付された場合はPLB資金をご利用いただけません。

〈エコクリーン資金・PLB資金・未来の芽〉実績



※件数は単年度の実績、金額は取り扱い開始からの累計額を表示しています。



多賀町
河内風穴



大津市
柳が崎湖畔公園（びわ湖大津館）



NEW!

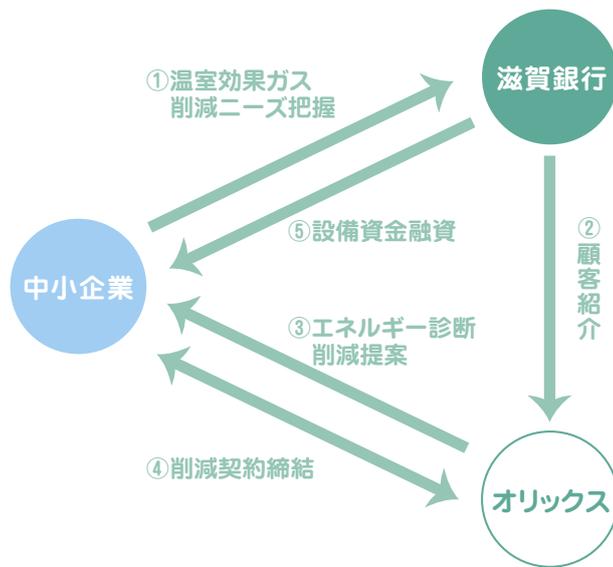
「温室効果ガス削減」を支援

～地域経済の活性化と地球規模での温暖化防止に貢献～

当行は、オリックス株式会社と提携し、平成21年2月よりESCO事業を中心とする「温室効果ガス削減支援業務」を開始しました。

具体的には、温室効果ガス排出削減の必要性を認識された中小企業者を当行がオリックス株式会社に紹介し、同社と共同で温室効果ガス削減の手法を提案。省エネ設備への投資を促進して地域経済の活性化をめざすとともに、当行が削減に必要な設備の導入費用等に対する資金をご融資することで、地域のお取引先中小企業の地球温暖化防止に向けた取り組みを力強くサポートするものです。

「温室効果ガス削減支援業務」のスキーム図



TOPICS

CO₂の地産地消

当行は「国内クレジット制度」に基づく温室効果ガス排出削減事業の共同実施者として事業認証を申請し、平成21年5月に地方銀行として初めて承認されました。

具体的には、繊維製品製造工場で実施する温室効果ガス排出削減事業の共同実施者となり、排出削減に協力し、将来的に当行が排出権を取得するものです。

地元で発生した排出権を取得することで、**地域経済の活性化と地球規模での温暖化防止**の両方に貢献できる新たな取り組みと考えています。

繊維製品製造工場のボイラーにおける燃料転換



用語説明

国内クレジット制度

大企業が資金や技術を提供して中小企業等が行った温室効果ガス排出抑制の取り組みによる排出削減量を、「国内クレジット認証委員会」が認証し、排出権として利用できる制度。

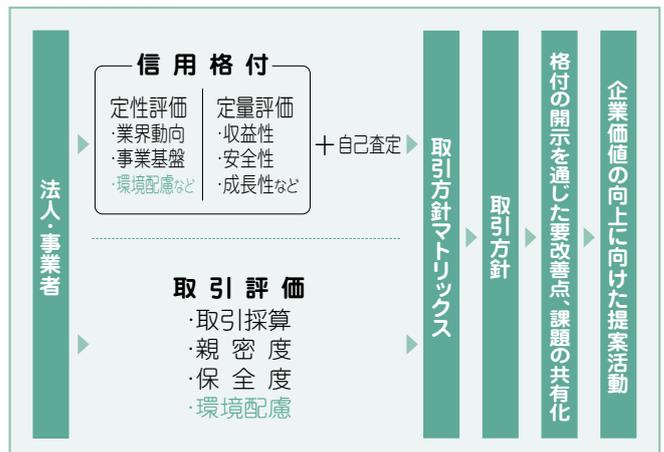
「企業格付制度」は“環境”も視野に

当行では、CSRの側面も加味した、「企業格付制度」を実施しています。

「企業格付制度」では、環境保全に熱心なお取引先の活動を取引評価ならびに信用格付に反映させるため「**環境配慮評価項目**」を設けています。

また、この格付制度を、お取引先の企業価値向上に向けた提案や親身なソリューション活動を充実させるための「**コミュニケーションツール**」として活用し、「**知恵と親切を提供するビジネス**」を展開してまいります。

企業格付制度



Q. 環境対応型金融商品には どのようなものがありますか？

太陽光発電システムの導入をサポート ～「カーボンニュートラルローン 未来よし」でニゴロブナを放流～

「カーボンニュートラルローン 未来よし」は、琵琶湖の環境と生態系の保全をめざして、平成19年4月に取り扱いを開始しました。

この商品はお客さまが当行の環境対応型金融商品の利用を通じて「太陽光発電システム」等を導入された場合、削減された温室効果ガスの量に応じて、排出権取引価格を参考に当行が試算し、琵琶湖の固有種「ニゴロブナ」放流事業に資金を拠出するものです。

なお、各商品で適用される金利プランからさらに金利を差し引くことで、環境保全に“志”のあるお客さまをサポートしています。

平成19年度から毎年120万円を、財団法人滋賀県水産振興協会が実施するニゴロブナ放流事業に寄贈しています。

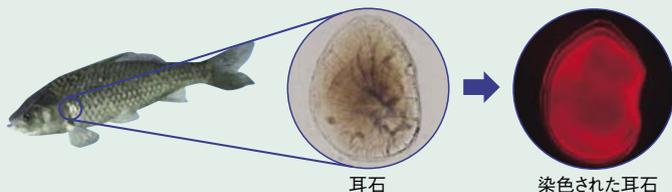


用語説明

カーボンニュートラル

日常生活や事業活動に伴って発生する温室効果ガスを、植林や自然エネルギーの導入などにより実質的にゼロに近づける取り組み。

放流する「ニゴロブナ」は、内耳の「耳石」に特殊な色素で染色し、識別できることから、一定期間後にサンプリング(捕獲)して繁殖状況などを調査します。



しがぎんが放流したニゴロブナのしるしとして、3重のリングマークをつけています

※掲載の耳石の写真は滋賀県水産試験場よりご提供いただきました。

経済産業省主催「第12回新エネ大賞」において「新エネルギー財団会長賞」を受賞しています。(平成20年2月)



新エネ大賞エンブレム

TOPICS

ニゴロブナ放流式を開催

平成21年3月、草津市の志那漁港において、昨年に引き続き2回目となる「ニゴロブナ放流式」を開催しました。

放流式には、財団法人滋賀県水産振興協会の栗野理事、高田会長、大道頭取が出席。1年間養殖し、体長12cm程度になったニゴロブナを、「元気に育って」と呼びかけながら湖に放ちました。



「生物多様性保全」の取り組み②

琵琶湖の固有種「ニゴロブナ」は平成19年8月に、野生生物の絶滅危惧種としてレッドリストに登録されています。「ニゴロブナ」の放流・増殖の資金を拠出することにより、琵琶湖の生態系を保全するとともに、「ふなずし」などの湖国の食文化(スローフード)を守り、地産地消と食育につながる、滋賀県ならではのLOHASな取り組みを展開しています。



ふなずし
日本最古の「すし」と言われており、琵琶湖産のニゴロブナを約3カ月塩漬した後、ご飯を詰めて焼酎などで本漬けた滋賀県古来の珍味

※掲載のふなずしの写真は滋賀県水産課よりご提供いただきました。



大津市
琵琶湖大橋



守山市
はたるの森資料館



環境+防災意識の 共有化と促進 ～エコ&耐震住宅ローン～

「エコ&耐震住宅ローン」(平成17年8月取扱開始)は、エコ関連および耐震の住宅建設の促進を目的に、同住宅を購入される場合に、金利を引き下げするものです。

太陽光発電システム導入住宅など、エネルギー効率の高い住宅を普及促進することにより、温室効果ガスの排出量を削減。また滋賀県には琵琶湖西岸断層帯が存在しており、耐震住宅の建設を促進することにより、お客さまの生命、財産を守るためのお役に立ちたいとの願いを込めています。



NEW!



環境先進企業として「エコ・ファースト」の認定を受けている、当行と積水ハウスは相互に関連のある「賃貸アパート」業務で提携し、地球温暖化ガス削減を進めています。

具体的には、賃貸アパートへの環境配慮型設備の普及促進のため、同社と協力して取り組むもので、オール電化仕様や高効率給湯器導入、太陽光発電導入や積水ハウス次世代省エネ仕様(断熱仕様)の4項目に対してそれぞれ年0.1%、最大で年0.4%を当行所定の基準金利から差し引かせていただくものです。



地球環境との共存共栄

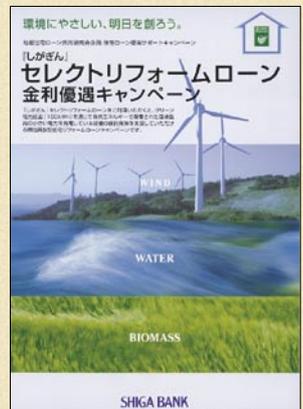
TOPICS

グリーン電力証書をプレゼント

平成21年1月から、“リフォームローン「環境サポートキャンペーン」”を展開しました。

具体的には、太陽光発電システムや省エネ設備の設置などを伴うリフォームに対してご融資する「セレクトリフォームローン(エコ&耐震)」を対象に、①1世帯あたり400kWhの「グリーン電力証書」をプレゼントすることに加えて、②ご融資金利を通常金利から年0.4%を引き下げしたものです。

「グリーン電力証書」を通じて地球温暖化防止へ貢献いただける商品として、ご好評いただきました。



豊富なSRIファンド ラインナップ

環境問題や法令遵守、社会的責任への取り組みが高いと評価される企業に投資する投資信託商品、SRI(Socially Responsible Investment:社会的責任投資)ファンドを豊富に取り扱っています。

SRIファンドラインナップ

投資対象	ファンド名
国内株式	●日興エコファンド
外国株式	●地球温暖化防止関連株ファンド ＜愛称:地球力＞ ●グローバルウォーターファンド
その他	●ニッセイ環境先進国債券ファンド ＜愛称:エコインカム＞ ●DIAM高格付インカム・オープンSRI ＜愛称:ハッピークローバーSRI＞

きれいな土地を未来へ

「土地をきれいなまま子どもたちへ、そして未来へ残そう」との願いから、土壌汚染対策法の施行(平成15年2月)に伴い、以下の対応を行っています。

担保土地に対する対応

新規担保

「汚染可能性が高い土地」に該当する土地は原則として新規の担保として取得しません。

(注1)「汚染可能性が高い土地」とは、使用中のものを含め、法に定める特定有害物質を取り扱う「特定施設」の敷地を言います。

(注2)汚染調査の結果、汚染されていない土地や浄化された土地は担保取得します。また「汚染可能性が高い土地」に該当しても、総合的に判断のうえ取得を検討する場合があります。

既存担保

法の定めにより都道府県知事が作成する指定区域の台帳に記載された土地については、評価額をゼロ円とします。

(注)浄化されれば台帳の記載から消去されますので、通常の評価に戻します。

大規模な環境被害を引き起こした企業等への対応

大規模な環境被害を引き起こした企業等については、該当先に対して行内の信用格付をランクダウンさせます。

担保土地のダイオキシン類に関する対応も

ダイオキシン類対策特別措置法の趣旨を踏まえて担保土地のダイオキシン類に関する対応を平成15年8月から開始しました。土壌汚染対策法への対応に準じたものです。

Q. どのような環境コミュニケーションを展開していますか？



環境力と金融力の融合

エコビジネスマッチングフェアを開催

平成21年6月、昨年に引き続き、「エコビジネスマッチングフェア」を開催しました。

このフェアは、当行のネットワークを活用し、環境ビジネスに積極的に取り組まれる企業同士を結びつけ、今後の新たな事業展開をお手伝いすることを目的として企画しているもので、今年は出展ブースを120社・団体、出展分野も「アグリ・フードビジネス」を加え、規模を拡大して開催。当日は約2,600名の皆さまにご来場いただき、最新の環境ビジネス情報の交換や、事業展開のヒントを得ていただくとともに、800件を超える商談が積極的に行われるなど、各ブースは終日賑わいました。



サタデー起業塾10周年～「産学官・金」連携によりエコビジネスにチャレンジ～



当行は、ニュービジネス（野の花）の育成が地域金融機関の使命と考え、平成12年度より「サタデー起業塾」を毎年開講。今年度も、「環境ビジネス」に特化した「エコビジネスフォーラム」として、「産学官・金の融合による環境ビジネスの進展」をテーマに、平成22年2月までに5回開催します。

また、滋賀大学、滋賀県立大学のご協力を得て、第3、4回は各大学のキャンパスで開催し、最新の環境分野における大学シーズと企業のニーズをマッチングし、ニュービジネスの育成をめざします。

おかげさまで「サタデー起業塾」は10周年を迎え、延べ1,247名の卒業生が起業や第二創業に活躍されています。



しがぎん
VOICE

エコビジネスマッチングフェア 企画担当者の声

営業統轄部 水口 栄寿

エコビジネスに積極的に取り組まれているお取引先の皆さまに「新たなビジネスチャンスを提供したい」、来場者の皆さまに「エコビジネスを身近なもの実感してほしい」との思いで、フェアを企画しました。本支店一丸となった出展募集、来場誘致により、数多くの商談が繰り広げられたことに満足しています。引き続き商談の成約や新たな課題解決のお手伝いをしていきます。



TOPICS

「環境金融シンポジウム」にパネリストとして登壇

平成21年3月、「環境金融シンポジウム（主催：全国銀行協会）」が開催され、当行西堀CSR室長がパネリストとして登壇しました。

同シンポジウムでは、「地球環境問題で銀行に期待される役割は何か」をテーマに、社会的・公共的使命を担う銀行にとって、金融仲介機能を活かした環境配慮行動をとるための具体的な行動について活発な討論が展開されました。



大津市
ドラゴンボート体験学習



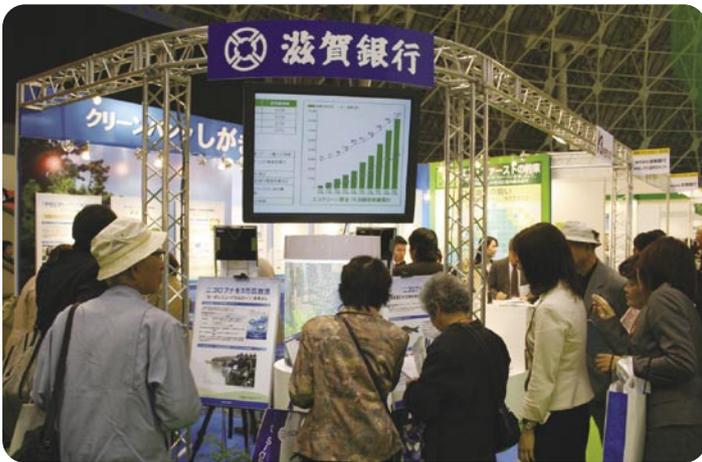
米原市
雲海 伊吹山頂



環境ビジネスを支援 ～びわ湖環境ビジネスメッセ2008～

平成20年11月5日～7日の3日間、「びわ湖環境ビジネスメッセ2008」が、長浜ドームで開催され、「環境ビジネス支援」をテーマにブースを出展しました。

ご来場いただいた方には、「お金の流れで地球環境を守る」という金融機関ならではの環境保全活動についてご説明し、「銀行業界の環境トップランナーとして、これからもさまざまな活動を期待しています」などのお言葉をいただきました。



ブースには、「びわ湖のために、今できること」をテーマに、来場者に環境宣言をご記入いただく「びわ湖への誓い」ボードを設置。期間中、480のメッセージが集まり、環境保全への思いを共有しました。



地球環境との共存共栄

TOPICS

「グリーン購入フォーラムin滋賀」に 大道頭取がパネリストとして登壇

びわ湖環境ビジネスメッセと同時に開催されたセミナー「グリーン購入フォーラムin滋賀」に、大道頭取がパネリストとして登壇しました。

大道頭取は、当行の「環境経営」の取り組みや、「滋賀エコ・エコノミープロジェクト」について紹介するとともに、「景気後退時で経済危機の対応に追われるがあまり、地球温暖化への対応を忘れてはならない。」と、強く地球温暖化防止への思いを語りました。



上海ビジネス商談会で「環境のしがぎん」をPR

平成20年12月、上海に拠点を持つ日本の地方銀行13行が、製造業を中心とするお取引先企業の中国でのビジネスチャンス拡大を願って「上海ビジネス商談会2008」を上海市で開催しました。

会場内では、中国での原材料調達、委託加工先の拡大、販売拡大のニーズを持つお取引先企業が出展し、出展企業同士、あるいは中国ローカル企業などとの商談が約3,300件繰り広げられました。

当行もブースを特設し、パネルで環境経営の取り組みをPR。中国でも「環境友好型社会建設」が進められており、参加者の注目を集めました。



「しが炭素基金」に参加 ～滋賀エコ・エコノミープロジェクト～

低炭素社会の実現をめざし、滋賀県と経済界でつくる「滋賀エコ・エコノミープロジェクト（戦略本部長：高田紘一）」が、企業からの拠出金によりCO₂排出量の削減事業に活用する「しが炭素基金」を設立（平成21年4月）。

この基金は、県内CO₂排出量削減の取り組みを促進するとともに、低炭素社会に向けた技術開発、啓発事業などに活用。当行も趣旨に賛同し、「しが炭素基金」に参加しています。



しが炭素基金への参加企業が利用できる「参加証マーク」は、ニゴロブナをモチーフとし、「CO₂を減らして、新しい産業の芽を育てていこう」という思いが込められています。



Q. 環境ボランティアには どのようなものがありますか？



大津市
ディンギーヨットレース

森づくりサポート活動 植樹累計は、16,180本に！

当行創立70周年(平成15年10月)を記念して植樹した1万本の苗木の生長を促すため、毎年「びわこ地球市民の森」で除草などのメンテナンス作業を役職員ボランティアにより展開しています。

5年目を迎えた平成20年度は、秋に2回実施。総勢1,320名が集い、除草作業や、創立75周年を記念して、ヤマザクラやヤマモミジなど、さまざまな苗木3,000本を植樹しました。

注目
創立70周年の際に植樹をしたドングリの苗木は、役職員が2年がかりで職場や家庭でドングリの実から育てたものです。当初30cm程であった苗木は、すくすくと大きくなり、今では立派な実をつけています。



「生物多様性保全」の取り組み③

浜町研修センター敷地内で、当行とともに歩んできた樹齢70年の「シラカン」の大木を、「びわこ地球市民の森」に転植しました。



日本列島クリーン大作戦で 琵琶湖岸を清掃

平成21年7月、「小さな親切」運動の一環として琵琶湖岸の一斉清掃活動に役職員94名が参加。「未来からの預かりもの」である琵琶湖の美化活動と豊かな心づくりをめざし、毎年展開しています。



「ヨシ刈り」ボランティアで 琵琶湖の環境保全に貢献

琵琶湖の生態系における葦(ヨシ)の重要性と、環境保全への意識を啓発する活動としてヨシ刈りボランティアを毎年実施しています。

平成20年12月は、湖西エリア61名が、高島市新旭町針江でヨシ刈りボランティアに参加。背丈の倍程もある大きなヨシを前に、終始、汗を流しながらの作業となりました。



「生物多様性保全」の 取り組み④

「ヨシ」は琵琶湖の水質浄化、魚の産卵場所、水鳥の生息場所として大きな役割を果たしています。

環境ボランティアにより刈り取ったヨシを活用した「ヨシ紙名刺」を導入し、ヨシ群落を「守り、育てる」活動から、「活用する」活動へと内容を一層充実させました。

NEW!

しがぎん
VOICE

森づくりサポート活動参加者の声



山科支店 杉本 知美

地球温暖化防止やCO₂排出削減は私たちの責任です。その1つの取り組みとして、森づくりサポート活動に参加し、植樹や除草作業を行っています。苗木が育ち雄大な森の実現に向け、一人ひとりが力を合わせて笑顔で励みました。力強く成長する苗木とともに、自分自身の成長を振り返ることができました。今後も積極的に参加したいと思っています。

環境会計

「環境経営」を推進するための
「経営管理」・「コミュニケーション」ツールとして役立てています



守山市
琵琶湖夕景

環境保全活動の報告の一環として、平成18年度より「環境会計」をCSRレポートで公表しています。
省エネ・省資源による「エコオフィスづくり」に努め、事業活動による環境保全効果が図れたとともに、環境対応型金融商品の提供による「環境金融」は着実に増加しており、「環境会計」にその成果が表れております。
今後も「お金の流れで地球環境を守る」との気概のもと、お客さまの環境保全活動を一層促進することにより、地域社会・地球環境との「共存共栄」を多面的に追求してまいります。

1.対象期間 平成20年4月1日～平成21年3月31日 2.対象範囲 滋賀銀行単体 3.集計方法 環境省発行の「環境会計ガイドライン」を参考

(1) 環境保全コスト

(単位:百万円)

分類	平成20年度		備考
	投資額	費用額	
(1) 事業エリアコスト	671	293	
公害防止コスト	14	5	土壌汚染防止のためのコスト
地球環境保全コスト	656	234	【投資額】浜町研修センターの環境保全投資 【費用額】低公害車、破砕機リース代金および減価償却費
資源循環コスト		52	一般・産業廃棄物の処理、処分コスト
(2) 上・下流コスト		6	再生紙回収、リサイクル費用
(3) 管理活動コスト		69	環境広告、環境商品パンフレット、環境イベント等
(4) 研究開発コスト		2	環境保全に資する会費、研究コスト
(5) 社会活動コスト		8	学校ピクトブ支援、ニゴロブナ放流、環境ボランティア費用
合計	671	380	

※地球環境保全コストの投資額は「浜町研修センター」の環境保全設備投資です。

(2) 環境保全効果

環境保全効果の分類	環境パフォーマンス指標(単位)	平成19年度	平成20年度	環境保全効果 平成19年度対比
事業活動に投入する 資源に関する環境保全効果 (インプット)	電力使用量(千kWh)	23,350	21,152	▲ 2,198
	都市ガス(m ³)	63,552	57,559	▲ 5,993
	LPガス(m ³)	4,311	1,612	▲ 2,699
	上下水道(m ³)	122,560	118,832	▲ 3,728
	ガソリン(注入量・kℓ)	282	299	▲ 17
	重油(注入量・kℓ)	88	62	▲ 26
事業活動から排出する 環境負荷に関する 環境保全効果(アウトプット)	温室効果ガス(CO ₂)排出量(CO ₂ /t)	6,982	6,812	▲ 170
事業活動から産出する 財・サービスに関する 環境保全効果	環境対応車購入資金(実行件数)	208	156	▲ 52
	太陽光発電システム導入資金(実行件数)	14	12	▲ 2
	未来の種による排出権購入累計(CO ₂ /t)	2,000	4,000	2,000
	植樹活動(累計本数)	12,780	16,180	3,400
	公用車の環境対応車への切替(累計台数)	222	291	69
環境対応型金融商品による 地域への環境保全活動	環境対応型融資商品の残高(百万円)	79,084	85,258	6,174
	環境対応型融資商品による金利優遇額(百万円)	441	384	▲ 57
	エコプラス定期(累計件数)	1,042,057	1,353,001	310,944
	エコ&耐震住宅ローン実行(累計件数)	2,620	2,782	162
	琵琶湖原則支援資金賛同書(累計件数)	2,184	4,528	2,344
	琵琶湖原則支援資金実行累計額(百万円)	6,782	11,968	5,186

(3) 環境保全対策に伴う経済効果

(単位:百万円)

効果の内容	具体的な取り組み	平成19年度	平成20年度
収益	環境対応型融資商品による資金利益	▲ 100	33
	エコ関連ファンド販売手数料	43	4
	リサイクルによる売却収入	0	0
費用削減	省エネ、省資源によるエネルギー費用の節減	▲ 35	13
合計		▲ 92	52

〈平成20年度における環境対応型融資商品の取り組み内容〉

- ①環境対応型融資商品の残高は85,258百万円と前期比6,174百万円増加いたしました。
 - ②お客さまの環境保全活動をサポートするために384百万円の金利を優遇いたしました。
- その結果、環境対応型融資商品による融資収益(貸出金利息－資金調達原価)は33百万円となりました。

環境対応型金融商品は、短期的な効果を求めるのではなく、長期的な目線でお客さまと継続的なリレーション(長期的な関係)を構築し、持続可能な社会を築いていくことに意義があり、それこそが地方銀行としての使命であると考えています。

Q. 社会貢献活動には どのようなものがありますか？



東近江市
秋の百濟寺

地域福祉の向上を願って 設立25周年を迎える「しがぎん福祉基金」



福祉団体に助成金目録を贈呈する高橋理事長

社会福祉法人しがぎん福祉基金は、当行創立50周年を記念し、地域福祉の向上を願って昭和59年8月に設立。当行の寄付金3億円を基本財産（平成21年3月末現在4億4,558万円）に、滋賀県内で展開される福祉の実験的・開拓的な取り組みに対して助成を行うもので、助成の対象を県内に限定した、全国でもユニークな基金です。

第25回となる平成21年度は、9件、総額1,000万円の助成を決定し、第1回（昭和60年度）以来の助成累計は、374件、総額2億8,622万円となります。



助成先の先駆的な取り組みや活動状況は、季刊文化情報誌「湖」で紹介しています。



TOPICS

「しがぎん福祉基金」設立秘話

基金の立案者、当時の廣野寛会長は設立にあたり、「すべてを税金に頼る従来の福祉から脱却しなければ、日本における福祉の成長はストップしてしまう。そこで従来からある全国規模の民間福祉基金の県民版ができないか。具体的には県内の福祉事業に限り助成するという基金を滋賀銀行の後援で作れたらと考えたわけです。しかし地域を限定した社会福祉法人など、当時、日本全国どこにもありませんでしたから、国はなかなか設立を認められません。『こちらは地方銀行ですから、何とか地元にお礼がしたい。日本全国が助成対象ではなんともなりません』と何度、東京まで行って頭をさげたことか」と、語っています。

助成対象を滋賀県内に限定し、地域福祉の向上を願った立案者の思いを現在も受け継ぎ、平成21年8月、同基金は設立25周年を迎えました。



青少年の健全な育成を願って しがぎんカップ

CSRの一環として、青少年の健全な育成に寄与するため、当行創立60周年を契機に、「滋賀県サッカースポーツ少年団選手権大会」に協賛し、毎年、「しがぎんカップ」を開催しています。

